



# しまだ 議会だより

No.  
48

2月  
定例会

2015

平成27年5月15日発行



私たちが、「声の議会だより」を  
お届けしています！

「声の議会だより」録音を担当する島田高校放送部部員の皆さん。

# 会計221億円を可決!!

平成27年第1回定例会が、2月18日から3月25日まで、36日間の会期で開催されました。

## 平成27年度 当初予算等を可決

平成27年度の一般会計当初予算案、並びに特別会計当初予算案8件、水道と病院の事業会計当初予算案、条例案20件、及び辺地に係る公共的施

設の総合整備計画の策定などの一般議案2件を含む計49件の議案が審議され、すべて原案どおり可決されました。

一般会計予算は前年度比1・1%減の368億円、特別会計予算は0・7%増の221億円となり、前年度に続



県有化が予定される「お茶の郷」

き大きな規模になっていきます。一般会計の主な事業は、県の「ふじのくに」茶の都しずおか「構想」の実現に向けた市の施策、小・中学校校舎等の耐震化、継続事業の川根小学校建て替え工事、島田球場改修、子ども・子育て新制度への対応などの子育て支援、橋りょう長寿命化、合併10周年記念事業などとなっています。

## 新議長選挙行われる

2月18日、河原崎聖議長(まきし)の辞任に伴う議長選挙が行なわれ、新議長に紅林貢議員が当選しました。



紅林 貢 新議長

## 平成26年度 補正予算を可決

2月26日には平成26年度の補正予算案9件が審議され、すべて原案どおり可決されました。

## 議案質疑に9人が登壇

2月18日に5人、3月11日に9人の議員が、議案について質問しました。その一部を報告します。

**平成26年度の「機関車トーマス」による経済効果は推定どれくらい？**

**答** 直接的な経済効果は、乗車料が約1億1500万円、売店等の売り上げが約1億2900万円、その他で合計約3億円と大井川鐵道から聞いている。

間接的なものの一例で、川根温泉の来訪者が前年比12%増、売り上げ金額で前年比24%増である。

**平成27年度、島田金谷IC周辺地区開発事業は何をするのか？**

**答** 道・水路の調査設計を予定している。

**問** 企業進出までには、どのくらいの年数がかかるのか。

**答** 平成30年には企業の進出が目に見えるような工程を組んでいる。

# 一般会計368億円、特別

**かなや会館を市の直営管理に戻す理由は？**

**答** 行政コスト削減の大きな効果が見られなかったことと、今後民間の能力活用の効果も期待したい施設と判断したため。

**小・中学校で活用の「夢ふくらむ文化活動事業」について**

**問** 平成24年度600万円、平成25年度600万円、平成26年度500万円、平成27年度250万円と減少しているのはなぜか。

**答** 財源としている『子ども未来・夢基金』の減少によるものである。

**問** 財源の『子ども未来・夢基金』を新規積み立てしない理由は何か。

**答** 原資としていた教職員の駐車料金を、平成25年8月から徴収しないこととしたためである。

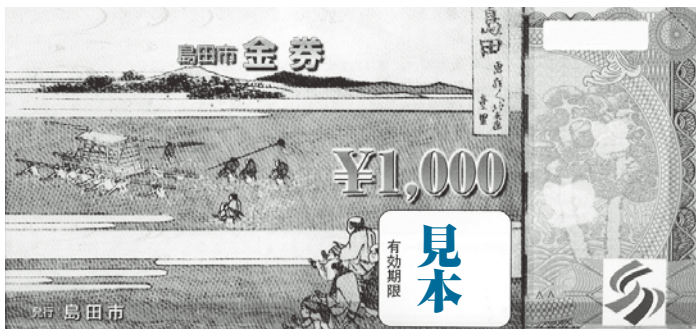
**問** 学校側からは必要とされていないのか。それとも、他の施策で代替ができるようになってきているのか。

**答** 未来を担っていく子供たちに夢を持たせるためには大

切な事業と考えており、特定財源がなくても事業は継続させていきたい。

**プレミアム金券事業には、一般と多子世帯の2本立ての市があるが、島田市独自の案はないのか？**

**答** 消費喚起を促すことが今回の目的であり、現時点での市単独の案は考えていない。子育て支援策については、別の事業として組み立てているところである。



地域の消費喚起が期待されるプレミアム金券

## 一般質問に17人が登壇

3月6、9、10日の3日間、4会派の代表議員による代表質問と議員13人による個人質問が行われました。

染谷市長の施政方針や「お茶の郷」の県有化、子育て環境、人口減少対策など多方面から質問が積極的に行われました。

(質問内容は10～18ページ)

## 3常任委員会による審査

総務消防・厚生教育・経済建設の各常任委員会では、付託された議案について審査を行いました。

(4～6ページ)

## 議会最終日

3月25日の最終日には、3常任委員会に付託された議案の審査内容と結果が報告され、賛成・反対の討論後、すべての議案が可決されました。

(9ページ)

また1件の追加補正予算案、副市長選任案を含む4議案が追加上程され、すべて可決されました。

## 意見書1件を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会・関係行政機関に意見書を提出することができます。2月定例会では、次の1件の意見書の提出について可決し、国会と関係行政機関に送付しました。

### 看護職員の勤務環境の改善を求める意見書

※提出した意見書の全文は、市議会のホームページ、または市役所の情報公開コーナーをご覧ください。

# 国の緊急経済対策交付金の活用で地域の活性化を!!

## 経済建設常任委員会

☆平成26年度  
一般会計補正予算

### ○地方創生事業

**問** プレミアム金券事業の内容を伺う。

**答** 1冊1万円で販売し、千円券が12枚の計1万2千円分の金券である。

平成27年6月から販売を予定し、使用期限は約5カ月間を予定。

☆平成27年度  
一般会計予算

### ○大井川鐵道の 運賃割引事業

**問** 内容を伺う。

**答** 川根地区、北五和地区に在住者等の一定条件に該当し大井川鐵道を利用した者に対して、運賃の2分の1を助成する。



運賃の引き事業が  
開始される  
大井川鐵道



現在の島田駅南口駐車場

### ○自転車等駐車場 管理運営費

**問** 工事請負費の増額理由を伺う。

**答** 島田駅南口の駐車場は、朝6時から夜10時まで管理人を置いて

いる。この方式を機械管理に変更し、24時間対応で行うためである。

### ○鳥獣被害の対策事業

**問** どのような変更か。防護柵設置補助の

限度額は2万円だったが、5万円までと増額した。

### ○企業立地促進事業

**問** 進出企業が明確になっているのか。

**答** 平成27年度は6社を見込んでおり、まだ操業を開始していない企業が2社、残り4社は既に操業を開始している。

### ○道路新設改良費

**問** 平成26年度国の交付金が大幅に減額された。平成27年度も減額された場合、事業の優先度はどうなるか。

**答** 継続事業や政策的に優先する路線、防災安全上必要な事業を優先的に考慮する。

### ☆島田市営土地改良事業の施行

**説明** 茶園の作業効率の向上および営農の安定化等を目的に、金谷の西原地区基盤整備を実施するものである。土地改良法の規定により議会の議決を求めるものであることから、委員会で審査、可決すべきものとしました。



# 安心して子どもを産み 育てることが できる支援策を!!

## 厚生教育常任委員会

### ☆平成27年度 一般会計予算

#### ○かわね保育園 民営化事業

**問** かわね保育園民営化のスケジュールは。

**答** 平成27年度に地域と保護者の代表に説明を行い、移管先を決定。平成28年度に施設修繕と引継ぎ保育を行い、平成29年4月から民間へ移行する。



民営化が進められる「かわね保育園」

#### ○子育て支援事業

**問** 子育てコンシェルジュの業務は。

**答** 相談者に寄り添いその場で解決する。場合により、一緒に関係機関に相談する。

**問** 中学生までの医療費無料化はできないか。

**答** 緊急性のない軽症患者の受診が増え、重篤な患者の治療に影響する。  
入院時食事療養費を助成した場合、さらに約7600万円かかる。

#### ○生活保護事業

**問** 生活保護扶助費が増えているがなぜか。

**答** 高齢化が加速し、医療扶助費が伸びている。

#### ○マラソン大会 所管の変更

**問** スポーツである大井川リパティマラソン大会の所管が観光課に移行するのは、納得いかない。

**答** マラソン大会は、スポーツ振興の側面の外に、市内の方との交流や市民とのふれあいによる交流人口増加と経済の活性化も大きな目的である。

**問** 協力団体の体育協会や観光協会に相談もなく決められた。関係



しまだ大井川マラソンin リパティの大エイド・ステーション

者の協力があつてこそではないのか。

**答** 経過の中で関係者への説明が十分ではなかった。大会までに説明し理解を求めていく。

#### ○スクールソーシャルワーカー事業

**問** スクールソーシャルワーカー事業予算の増額理由は。

**答** 学校現場のニーズから、二人の相談員の活動の時間を増やすため、予算を増額した。

### ☆平成27年度 国民健康保険事業 特別会計予算

**問** 加入者の経済状態は厳しい。実態はどうか。

**答** 短期保険証は631世帯、資格証明書は44世帯に発行されている。

### ☆教育長が教育委員会 の長となる 条例

**問** 教育委員長をなくし、市長が任命する教育長が教育委員会の長となれば、市長の権限が強化され、委員会が形骸化するのではないか。

**答** 市では、教育長と教育委員会が常に協議して運営してきた。変わっても、市民に対しての信頼はこれまでどおりだ。

# 地方創生のために 積極的な取り組みを!!

## 総務消防常任委員会

### ☆平成26年度 一般会計 補正予算

#### ○地方創生先行型事業

**問** 地方版総合戦略事業の有識者メンバーは、

**答** 産業界・行政・学識経験者・金融機関・労働者団体等から選ばれた15人である。

#### ○移住・定住促進事業

**問** 移住・定住促進事業における「島田市に住もう応援奨励金」の交付要件と対象地区は、

**答** 県外から市全域への移住・定住のために住宅（新築・中古）を購入した者を対象とする。

### ☆平成27年度 一般会計予算

#### ○行政番組放送事業

**問** 災害発生時におけるFM島田との連携は、

**答** 通信インフラ復旧

後の地域的な支援情報を発信する。総合防災訓練において訓練を実施する。

#### ○「ゆめ・みらい百人会議」運営経費

**問** 任期（10月18日）



災害時の支援情報を伝えるFM島田スタジオ



平成26年度総合防災訓練の様子（初倉中学校）

### ☆過疎地域自立 促進基金条例

**問** 基金運用の仕組みは、

**答** 過疎地域のソフト事業のため過疎債を借入れ基金に積み立てる。その後、償還と同じ12年で基金を取り崩し、ソフト事業に充てる。償還には地方交付税が措置され、事業の財源負担が軽減される。

終了後の委員の選任方法と今後の目的は、

**答** 希望者の再任は検討する。まちづくり推進の提言を目的とした。

#### ○事業仕分け実施経費

**問** 実施方法の改善は、

**答** 委員や傍聴者からの意見により、総合計画の第4章以降全てを対象とし、8月前半の実施を検討する。

#### ○空港振興対策事業

**問** 委託事業の内容は、

**答** 島田市を上空から見てもらうチャーター

便事業、親子航空教室、親子空港見学会等である。

#### ○同報無線親局更新事業

**問** 更新内容は、

**答** 市内全域での同時放送を可能とする統合操作卓整備、およびテレビホンサービスマ機能を設置する。

#### ○防災訓練経費

**問** 総合防災訓練の内容は、

**答** 全員参加型を考え、避難所運営組織づくり、自衛隊ヘリコプターに

よる患者や高齢者の搬送訓練を検討している。

# 特別委員会の報告

新病院建設に向け、提言！

～病院建設に関する特別委員会～

市民病院の建設等に関する特別委員会では、新病院の建設に関し議論した内容を4つの提言

としてまとめ、平成27年3月25日、市長に提出しました。主な内容は次のとおりです。

## 提言1 医師の確保および経営について

- ・関係大学並びに関連機関へ積極的に訪問等を行い、医師の確保に努めること。
- ・医師・看護師・医療従事者がスキルアップできる環境づくりのほか、魅力ある病院づくりに努めるとともに医師等の定着を高めるため、生活環境の整備・充実にも努めること。

## 提言2 予算・財政について

- ・事業費の抑制に最大限努め、将来世代を見据えた事業規模とすること。
- ・開院時期は社会情勢を十分に考慮すること。
- ・内部留保資金の確保に努めること。

## 提言3 建築整備手法について

- ・事業費の抑制と市の意向を確認するため、従来方式（個別発注方式）を採用すること。
- ・設計は医師等の意見を十分反映させ、施工に当たっては患者に対して十分配慮すること。
- ・建設工事や資材調達等に地元企業を活用すること。

## 提言4 情報の公開について

- ・進ちょくについて随時、明確な説明・情報提供を行うこと。

今後の議会改革の方向性を先進地に学ぶ

～議会改革特別委員会～

議会改革に関する特別委員会では、平成26年7月3日から9回の委員会を開催しました。

また、1月22・23日には岐阜県可児市議会、高山市議会を視察し、議会改革の先進的事例の調査・研究を行いました。

視察先では、地域別の市民との議論の場や、各種団体との意見交換の説明をいただき、出された意見を政策提言につなげる前向きな議会の姿勢を感じました。

また、予算・決算の審議のため



高山市議会視察の様子

の専門の委員会の設置など、多くの取り組みを学ぶことができました。2月定例会ではこれまでの経過を踏まえ、10項目の改革案を取りまとめ、中間報告を行いました。

### 10項目の提言（要約）

- ① 議案に対する議員個人の賛否を記録
- ② 議会報告会の開催方法、目的の見直し
- ③ 若年層意見の議会活動への反映
- ④ 資料要求制度の積極的な活用
- ⑤ 予算・決算の議案審査体制の見直し
- ⑥ 議員相互に情報共有できる常任委員会の開催日時の調整
- ⑦ 議場等における情報機器の段階的導入
- ⑧ 情報機器に対する議員間の情報共有や、議員間技能格差縮小
- ⑨ 情報共有化システムの導入
- ⑩ 議長立候補制の調査研究

# ザツ討論

賛成 ↔ 反対

結果は採決結果一覧のとおり（9ページ）

市議会最終日には、議案採決に先立ち、議案への賛成・反対の意見を相互に表明する討論を行います。

2月定例会では、議案4件に対し、4人の議員が討論を行いました。

## 【議案第10号】 平成27年度 一般会計予算

反対

◎「お茶の郷」の県への売却について、茶が売れないからと行政が行政にお任せ主義。自立できない自治体はいずれ消える。自ら考え、自ら行動することが必要だ。

また、小・中学校の「夢ふくらむ文化活動事業費」が削減。我々世代が数十年後の彼らにできることは、夢の可能性を広げることくらい。私たち大人は全員が予

ども達に夢を与え続ける親である必要があることから、反対する。

◎行政改革と称して、経験を積み重ねた教育や福祉での公務労働がコスト削減の対象になっている。かわね保育園の民営化を進める準備経費は容認できない。

公務員は市民全体の奉仕者として中立・公平・適正に業務を行うことが求められ、安定的で身分の保障された労働条件の確保が必要だ。しかし、退職不補充や新規職員採用の手控えて、今や非正規職員の割合は4割だ。さらに、4月から職員給与を引き下げての予算執行は容認できない。

賛成

本予算案は、総合計画・基本計画に掲げられた事業の推進により、市民福祉の増進を目指すとともに、社会経済情勢の動向や国・県

の施策・制度改正へ適切に対応し、併せて、健全な財政運営に努めることを基調として策定していることから賛成する。

## 【議案第16号】 平成27年度 介護保険事業 特別会計予算

反対

介護保険制度の改悪のもとに執行される予算に反対する。①65歳以上の介護保険料の大幅な引き上げは容認できない②「要支援」の訪問介護、通所介護のサービス

を介護給付の対象から外し、市が行う地域支援事業に移行するが、安上がりなサービスに後退することがある③特別養護老人ホームの入所条件を介護度3以上に限定する

ことは問題④事前の「基本チェックリスト」の活用が介護申請権の侵害にならないよう求める。

賛成

保険料の上昇を抑制するため、平成26年度末支払準備基金残高見込額のほぼ全額を繰り入れることとしている。65歳以上はより負担能力に応じたものとするため、所得段階を9段階から11段階に細分化。また要介護1・2でもやむを得ない事情の方は特別養護老人ホームへの入所を認めるなど、現在最大限の対応がなされたものであると考えられ、賛成する。

## 【議案第26号】 地方教育行政の組織 及び運営に関する法 律の一部を改正する 法律の施行に伴う関 係条例の整理に関する 条例

反対

教育委員長と教育長を一

本化し、市長が直接任命する新教育長を教育委員会のトップにする条例改正だ。教育委員会から教育長の任命権や指揮監督権を奪うもので容認できない。

関連する法改正では、首長が「教育の大綱」を定め、教育内容にまで踏み込んで策定することが可能になり、教育委員会の協議の形骸化が危惧される。政治が行うべきは教育条件の整備によって子どもの学ぶ権利を保障することであり、教育内容に介入することがあってはならない。

賛成

法改正後も、教育委員会が引き続き執行機関であり、最終的な執行権限がある。総合教育会議は、首長と教育委員会が協議・調整を行うことで両者が教育政策の方向性を共有し、大綱の策定により教育政策に対する方向性が明確となる。教育委員会の組織と市の教育行政の責任の所在が、より市民に明確になる。首長と今まで以上の連携に努めることを要望し賛成する。



【議案第28号】

島田市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

反対

4月からの職員給与の平均2%の引き下げに反対する。

その影響は、この給料表で採用から退職まで38年間勤務したとして、生涯賃金は約350万円もの減額だ。さらに焼津市や藤枝市で出している地域手当もなく、どうやって優秀な人材確保ができるのだろうか。働くモチベーションをも下げるものだ。

この賃金水準の引き下げは、民間労働者にも影響し、地域活性化を求める住民の声に背を向け、活性化の妨げになることは必至だ。容認できない。

賛成

地域の民間給与との格差を解消するため平均2%の引き下げを行い、この引き下げにより、給料月額が減額となる者に対しては、3

年間に限り現在の給与水準を保障するという改正内容である。

社会経済情勢の動向や国・県の施策・制度改正へ適切に対応し、併せて、健全な財政運営に努めることを基調として策定していることから賛成する。

【議案第34号】

島田市介護保険条例の一部を改正する条例

反対

65歳以上の介護保険料の基準月額を4000円から4550円に引き上げるもので、容認できない。14%もの大幅な引き上げだ。

介護保険料は、年金がわずか月1万5000円以上あれば容赦なく天引きされるしくみだ。しかも、高齢者の生活を支える年金はこの4月から実質的に減らされ、介護保険料の大幅な負担増は、暮らしそのものを直撃する。市の一般会計から繰り入れて、低所得者の介護保険料を減免する制度

賛成

の拡充を求める。本市の介護保険料の現在基準額4000円は県下でも一番安い。第6期の4500円も引き続き他市に比べてかなり安価となる見込みである。今後、高齢者人口・要介護認定者の増加が大幅に予測される中で、第6期の見

みである。今後、高齢者人口・要介護認定者の増加が大幅に予測される中で、第6期の見

【発議案第1号】  
島田市議会委員会  
条例の一部を  
改正する条例

通しに立つて事業を進めていく上から必要なものであり、第1号被保険者の負担を極力抑えた適正なものであると考える。

反対

教育委員会制度が変わり、条例第23条の出席説明の要求の項で、教育委員長を教育長に改めるものだ。市長が直接任命する新教育長を教育委員会のトップのすることに関連する条例改正であり、反対する。

採決結果一覧（賛成・反対が分かれた6議案を掲載）

○=賛成、 ×=反対		平成27年度 一般会計予算	平成27年度 介護保険事業特別会計予算	地方教育行政組織の運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	島田市介護保険条例の一部を改正する条例	島田市議会委員会条例の一部を改正する条例
氏名	会派名						
伊藤 孝	きょうどう島田	○	○	○	○	○	○
山本 孝夫		○	○	○	○	○	○
森 伸一		○	○	×	×	○	○
福田 正男	桃季の会	○	○	○	○	○	○
杉野 直樹		○	○	○	○	○	○
横田川 真人		○	○	○	○	○	○
仲田 裕子		○	○	○	○	○	○
佐野 義晴		○	○	○	○	○	○
大石 節雄	さきがけ 魁しまだ	○	○	○	○	○	○
村田千鶴子		○	○	○	○	○	○
曾根 嘉明		○	○	○	○	○	○
平松 吉祝	創造島田	○	○	○	○	○	○
藤本 善男		○	○	○	○	○	○
清水 唯史		○	○	○	○	○	○
八木 伸雄	無会派	○	○	○	○	○	○
青山 真虎		×	○	○	○	○	○
桜井 洋子	無会派	×	×	×	×	×	×

※その他の43議案は全会一致で可決されました。

※議長（紅林 貢）は、採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席による）

島田市議会では、執行機関（市長や行政委員会）に、施策の執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係る事項など、市政全般のことについて質問を求め、所信を質すことを目的に「一般質問」を実施しています。

一般質問には、各定例会で実施する個人質問のほか、新年度に向けての施政方針説明が行われる2月定例会で行う代表質問があり、市議会に所属する会派を代表した質問が行われます。個人質問の制限時間は50分、代表質問は60分で、その時間内に「一問一答方式」で質問をすることができます。

# ただ市長に質す！

## 2月定例会

# 一般質問



質問に答える  
染谷絹代 市長

**問** 島田金谷インター周辺の振興について、開発地は市が買い上げるといふことでよいから、市が直接買収する手法は考えていないか。

**答** インター周辺の企業誘致のタイムリミットはいつか。

**問** 平成28年度前後にある程度、企業をめどをつけたい。

**問** 今回指定されなかったエリア、例えば473号沿線は入っていない。個別に企業の

## 施政方針と新病院の行方

すぎの なおき 議員  
杉野直樹



代表質問 「桃李の会」

申し出があった場合、どのような対応をとるか。

**答** 沿線は同じように開発エリアとする。

**問** 市庁舎について、9月議会で、「庁舎は築51年で老朽化が進んでいて、災害時に職員の安全を確保できない。合併特例債が無くなっているからでは、建て替え困難」と答弁があった。しかし、その後、この話はなかったような展開に転じた。9月の時点で庁舎建て替えについて、行政サイドで

市長との調整はなかったか。

**答** 財政状況が厳しさを増す中、耐震性を有する本庁舎の建て替えは必ずしも優先すべきではないと判断した。

**問** 新病院建設は、今年の夏に基本計画が発表予定だが、建築整備手法についてどこまで協議が進んでいるのか。

**答** 建築整備について

- ① 事業費の削減
- ② 整備期間の短縮
- ③ 建築品質への影響などの視点から適切な方法を選択していく。



開発エリアの主要道路となる473号線

### 一般質問をインターネットでも見てみませんか？

① 島田市ホームページのトップページの右側にあるバナーをクリック！



③ URLは  
<http://www.shimada-city.stream.jfnet.co.jp/> です。

② スマートフォンとタブレットではQRコードで「ピッ！」



④ 検索エンジンに「島田市議会 映像」と入力し、検索することもできます。



映像配信をご覧になるためには、次のプログラムが必要です。

- ① オペレーションシステム (OS) が  
Microsoft Windows→Media Player  
Mac OS→Windows Media Components for quick Time
- ② Internet Explorer以外のブラウザ (Firefox、Chrome) でプラグインを要求するメッセージが出た場合は、適切なプラグインをインストールしてください (詳細は、ブラウザのサポートサイトを参照してください)。

**問** 医師の確保は、医局からの派遣人事である。関連大学への働きかけを粘り強く行つて、**問** 医師養成の市の奨学金制度の実績は。**答** 市の就学資金貸与制度は8人が利用した。そのうち3人が市民病院に勤務している。**問** 医師を養成する医科大学を設置したらどうかと思ひ入手した資料によると、医科大学は昭和56年の琉球大学

## 島田に医科大学の誘致を！

ふくだただお 福田正男 議員



代表質問 「きょうどう島田」



市民病院にマンパワーを

医学部以降新設許可されていなかったが、東北大震災後、1校だけ許可された。その理由が、震災からの復興、今後の超高齢化、東北地方の医師不足と原子力災害からの再生といった要請を踏まえ、将来の医師需給や地域医療への影響も勘案し許可したとある。

この島田市も浜岡原発から30キロ圏内であり、近い将来南海トラフ3連動の大地震が来るといわれている。今

年浜岡原発オフサイトセンターが開設され、新幹線新駅も見込まれる空港周辺に災害拠点病院を兼ねた医科大学を誘致したらどうか。

**答** 島田市単独で医科大学の誘致は難しい。

**問** 医療福祉介護は、人間が生きていく以上、続いていく。それに必要なのは医大、病院、医師である。その気構えはいかに。

**答** 周辺市町との連携の中で判断していく。

## 主要施策と人口減少対策、その道筋は！

むらたちづこ 村田千鶴子 議員



代表質問 「魁しまだ」

**問** お茶の郷の県有化案や、旧金谷中学校跡地を含むエリア全体を賑わいの創出、交流人口の拡大のため一体的に県と共同で検討する中、市長として旧金谷跡地利活用の考えは。**答** お茶の郷で賄い切れない機能だけではない。空港を使うお客様にとって魅力的な場所になるよう検討する。**問** 定住・移住施策として平成27年から川根

地域で空き家バンク事業を開始するが、スケールメリットから川根本町との連携の考えは。

**答** 両市町にとってメリットがあれば、戦略の中に盛り込みは可能。

**問** 大井川鉄道は民間で自主自立が基本だが、中長期的に地域の交通弱者の足を担う公共交通を維持する観点から、県と連携し財政支援を検討すべきでは。

**答** 現在の課題は大きな累積負債をどう処理するかで、支援計画の中で解決方法が示され

要請するものがあれば協議・検討する。

**問** 本市における人口減少の現状と課題は。

**答** 若年層の転出超過が顕著。若年層の流出は購買力の低下や労働力の減少となり、経済活動の停滞や税減収による公共サービスの縮小が懸念される。

**問** 人口急減防止策は。

**答** 地域活性化地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、新たな仕事・人の流れ、地域消費を喚起する予定。



利活用が期待される旧金谷中学校 跡地



## 施政方針を問う、 どうする?地方創生!

ふじもとよしお  
**藤本善男 議員**

代表質問 「創造島田」

や、地域おせっかい人子育てコンシエルジュ、育児サポートターなどの環境づくりを進める。

### 施政方針の 気になる取り組み

**問** リニア中央新幹線への対応、浜岡原発安全協定締結に全身全霊を傾ける理由は何か。

**答** 市民生活を脅かす重大な問題であり、安心して暮らせる環境を守る事が市長の責務と考えるからだ。

**問** 市役所本庁舎建て替えから継続使用と

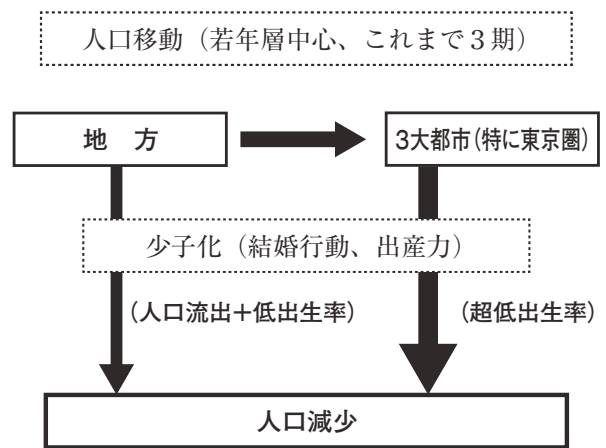
なった経過を伺う。

**答** 病院建設と時期が重なることや、小・中学校より優先した建て替えは市民理解を得られにくいと判断した。

**問** 富士山静岡空港新駅設置の可能性および取り組みを伺う。

**答** 実現可能性についての発言は控える。市ができることは交流人口の拡大で、多くの方が市へ来てくれれば新駅実現の後押しが可能になる。

**問** 市の創生本部のこれまでの取り組みは。  
**答** 平成26年10月1日に立ち上げ、人口動態の調査を進め、国や県の動向を把握した。  
**問** 人口ビジョンはどのように描くのか。  
**答** 現状を分析し、国の長期ビジョンを基本に、将来の方向と人口の将来展望を示す。  
**問** 若者の雇用創出や結婚・出産・子育ての環境整備は。  
**答** 積極的な企業誘致



東京への人口集中が日本の少子化に拍車をかけている  
〈出典〉日本創生会議・人口減少問題検討分科会

**問** 「お茶の郷」の使命は何か伺う。  
**答** 茶産業の振興・お茶の文化的機能の発信の期待と理想である。  
**問** 旧金谷町時代に館長を務めた小泊重洋氏は、①茶の情報発信②観光の拠点③茶の文化・振興を守る④民の誇りとなる施設の4点を使命としていた。特に③は、市は県へ正しく継承すべきである。  
**答** ふじのくに茶の都



「お茶の郷」庭園を望む

## 県有化「お茶の郷」 理念を忘れずに

個人質問

なかだゆうこ  
**仲田裕子 議員**



熊倉功夫先生は、茶室と庭園の価値を認識しており安心して居る。

**問** 後水尾天皇の仙洞御所東庭は、伏見奉行で茶人の小堀遠州が手がけたものであった。その図面を宮内庁から特別に取り寄せてお茶の郷の庭園に復元した経緯や理念を、熊倉先生に頼るだけではなく、市自身が十分に把握した上で県と協議することが、市の使命では。

**答** 県との協議の中で伝えていく。

**問** 多くの中国人観光客が来館している。浙江省湖州市の中国茶葉博物館とお茶の郷は1998年9月に友好提携を結んだ。このことを中国との観光に生かすべきと考えるがいかがか。

**答** 中国茶葉博物館からいただいた大急須の展示箇所に、友好提携の内容を表示する。

**問** 県有化後、九州のお茶を売るのか。

**答** 「静岡県」、「富士山と日本一のお茶」がキーワードである。他県のお茶を売ることはないと思っている。

**問** ふるさと寄付金のお礼品を公募制にする

**答** 現在策定中の島田市行政経営戦略の中の推進施策として、広告収入などの新たな自主財源の確保を掲げており、今後検討していきたい。

**問** 公共施設に企業名の通称などをつける権利を与え広告料収入を得る命名権（ネーミングライツ）の導入については、検討しているのか。

**答** 現在策定中の島田市行政経営戦略の中



かわね保育園

## 収入増の具体策は？

### 個人質問

伊藤 孝 議員



**問** 平成31年に子供の数が170人も減る予

かわね保育園を  
民営化して  
大丈夫か

**答** 考えは無いのか。島田市のシティブロモーションと地産産業の振興を図るといことが、当初からの目的だ。したがって、地産産業の振興を図るという意味から、今提案があった公募も一つの手段と考えている。

**問** 測がされている。定員150人のかわね保育園より多い数が減るのに、かわね保育園の運営は大丈夫なのか。

**答** 民営化をした場合に経営ができるかどうかの試算を、かわね保育園では行っている。民営化すると、保育士の年齢が若返る等の新陳代謝等もあるので、歳入が歳出を若干上回ってくるという算定結果も出ている。

**問** 地方創生では、どのような事業が補助対象となるのか。

**答** 現時点ではない。極力具体的な数字が上げられるようにしたい。

**問** 若年世代の就労についてどう考えるか。

**答** これから補正予算を上げて細かい調査をする。

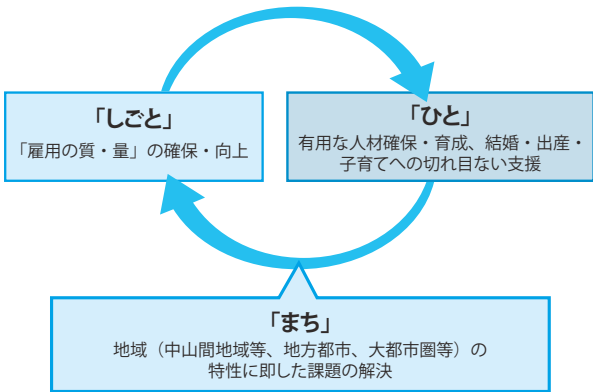
## 地方創生 島田ではどのように？

### 個人質問

横田川真人 議員



「しごと」と「ひと」の好循環、それを支える「まち」の活性化



再生ではなく 創生・新しいサイクルを創る

**問** シングルマザーを対象に雇用のサポートや空き家を安く貸すことで、都市部からの流入を誘う「シングルマザー・ビレッジ構想」を提案するが、いかがか。

**答** 現状分析とともに、島田でしかできないこと、都会ではできない

**問** 空き家バンク利用の際、地域のローカルルールや風習を把握し、市で答えられるようにするべきではないか。

**答** コンシェルジュ（案内人）のように、何でも答えられるようにしたい。

**問** 引越しの行政手続きで窓口のワンストップ化はできないか。

**答** どの事業でも求められている。模索する



# 市の移住・定住施策は具体的に何か？

## 個人質問

おおいし せつ お 大石節雄 議員

**問** 住みたいが宅地がない。市有地で、住宅地として売却可能な土地はどれくらいあるのか。また、売却する考えは。

**答** 住宅用地として売却可能な市有地は5カ所。今後積極的に売却処分していく。

**問** オレンジタウンが土地単価を下げたが、一戸しか売却出来ていない。何が問題か。

**答** 民間で売っている価格に比べて、価格対

比が非常に高い。また、1区画の面積的なものがニーズに合致していないと分析している。

**問** 市財源確保のために価格は、安価にし、積極的に売却すべき。

**答** 基本的に売れるところは売り財政的に多少活用していきたい。

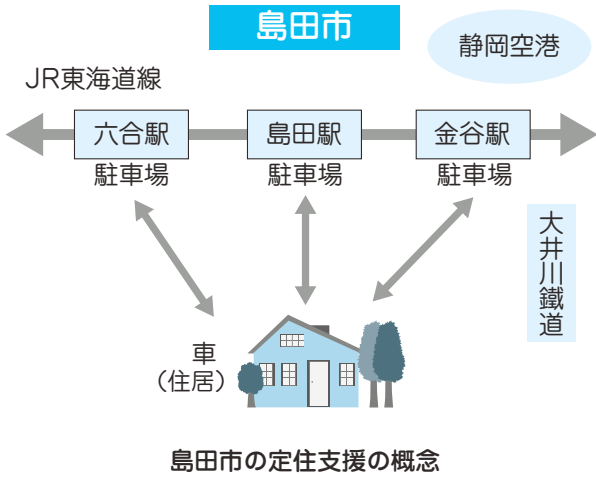
**問** 過疎地域の移住・定住施策はあるか。

**答** 来年度は平成28年度から平成32年度までの過疎地域自立促進計画の策定年度となる。計画の策定段階において施策を検討したい。

また、川根地域において空き家バンク事業を始めたいと考えている。

**問** 特に若者の移住・定住について、就職、住宅、子育て環境が必要である。それによる地域活性化は重要である。どう考えているか。

**答** 若者の移住・定住については、地域の活性化にとって必要不可欠である。国のまち・ひと・しごと創生総合戦略を参考に市の総合戦略に盛り込むべきか検討したい。



# 「要支援」の介護給付外しは問題！

## 個人質問

さくら い よう こ 桜井洋子 議員



**問** 4月から「要支援」の方が受けていた訪問介護、通所介護が介護給付費の対象から外れ市が行う地域支援事業に移行する。サービスの後退ではないのか。

**答** 制度が市に移行しても、従来と同様の利用料で介護保険事業所が実施するサービスは受けることができる。

**問** 専門的サービスを減らし、「状態を踏まえながら多様なサービスの利用を促進していく

ことが重要」との国の指針は問題だ。多様なサービスの担い手はどこか。

**答** 専門性を必要としない自立生活支援事業はシルバー人材センターへ、生活支援員の派遣は社会福祉協議会へお願いする。また、住民が担い手となる訪問型サービスは未定だが、通所型サービスは町内会やNPO法人に交渉中である。

## 小・中学生の就学援助制度の充実を！

**問** 経済的に困難な家庭に学用品費や給食費、入学準備金などを支給する就学援助制度を広く知らせるべきだ。

**答** 入学説明会や学校だよりで知らせるほか、広報やホームページなどで周知に努めている。

**問** 入学準備金は、お金が掛かる入学前に支給できるように便宜を図るべきでは。

**答** 4月1日に在学中に在学している要件が必要だ。早期に支給できるように研究する。



島田市の介護サービスはどうか？

**問** オープンデータ（避難所情報やAEDの設置場所、観光スポットに関する情報など）が保有する公共情報を機械判読可能で市民が容易に利用できる形式）の取り組みの詳細は。

**答** 県内初の5つ星レベルで公開していく。

**問** 新しく展開する観光策の取り組みは。

**答** ソーシャルネットワークサービスなどの有効活用による情報発

# シティプロモーションの施策は？

個人質問

清水唯史 議員



信と、体験メニューなどの創出を市内宿泊施設や旅行会社と連携し展開する。島田市出身経済人などを観光大使に任命し、マンパワーを活用していく。

## 防犯・防災への新しい取り組みは

**問** 防炎情報伝達システムとしての同報無線のデジタル化への取り組みは。

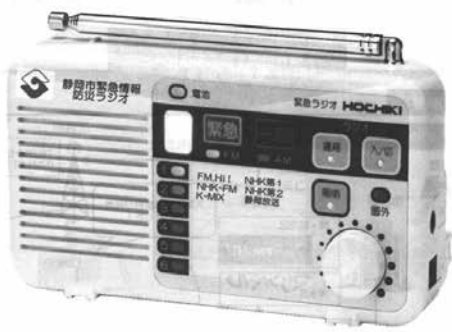
**答** 現状のアナログ式とデジタル対応のそれぞれの個別受信機と、

高齢者世帯に有効な防災ラジオの導入を併用して、検討していく。

**問** 地域への防災訓練の取り組みの指導・アドバイスは

**答** 自主防災会と意見交換を行い、訓練内容参加率の向上対策など提案を行うとともに、要介護者や児童・生徒の参加を促していく。内容は地域の行事と連動して防災意識が向上するための先進事例を紹介しながら助言していく。

静岡市緊急情報防災ラジオ参考図



静岡市が導入する防災行政ラジオ

# 今、自治基本条例は制定すべきか？

個人質問

曾根嘉明 議員



**問** 自治基本条例の条例化の法的根拠と、目的は何か。

**答** 条例の制定は、地方自治法第14条第1項にある条例制定権を法的根拠としている。目的は、

- ① 市政運営の基本理念を明確にすること
- ② 行政の責務や役割を明確にすること
- ③ 協働のまちづくりに必要な仕組みやルールを定めることである。

**問** 基本条例の制定

は、優先すべき課題の一つとして考えているとのことだが、市の一番の課題は、新病院の建設、市民会館・金谷庁舎等、老朽化した公共施設の整備、併せて財政の健全化、人口減少へ向けての対応、「まち・ひと・しごと創生法地域版総合計画」の作成など、喫緊の課題が山積みとなっている中で、限られた職員数で本当にこの課題について仕事ができるのか。市長は「選択と集中」と言うが、基本条例を制定しなくてはいけないのか。

**答** 基本条例を作りたいという思いの中には、協働のまちづくりを後戻りさせられない、今後の島田市のためにも、どうしても進めていかなくてはならない枠組みだと思っている。まちづくりを推進していくルールを作るということで、必要だと思っている。職員がオーバーワークにならないよう配慮しやっけていきたい。



栃木県栃木市の自治基本条例のパンフレット

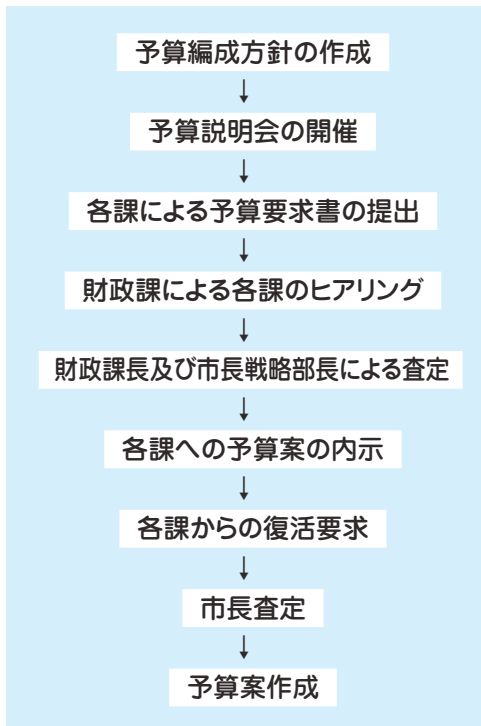


## 予算編成過程を公開せよ！

### 個人質問

ひらまつよし のり  
平松吉祝 議員

**問** 昨年、事業仕分けが実施された。行政サイドで800事業を50事業に絞ったものを、一般の仕分け委員に仕分けするしかないかと思われ、選択を迫った。最終的段階だけ市民を巻き込んで、市民の皆さまが決めたいという



島田市の予算編成過程フローチャート

形にするのは責任転嫁にしかみえない。一軒の家庭の家計を見直す時、まずは必要経費から見直す。市の会計も同じで必要経費から見直すべきである。事務的事业だからと除外されていくのであれば、その予算のできる過程を公開していただければ市民にとっては納得できず、不透明感だけが残る。予算編成における問題は透明性の欠如である。予算編成過程における予算査定という作業は「密室の秘儀」といわれ、情報公開時代の現代にそぐわないものとなって

**問** 予算編成過程を市民に公開すべきであるがいかがか。  
**答** 予算編成の過程の公表は現時点では考えていない。  
**問** 市長査定の段階で復活要求の内容を直接担当課から聞いて判断しているか。  
**答** 直接担当課から聞いて判断している。  
**問** 市長査定にはどの位の時間をかけるか。  
**答** 1日を予定して、時間をとっている。  
**問** 予算要求書には資料が添付されているか。  
**答** 結論としては、添付されている。

## 子どもの貧困を救え！

### 個人質問

やぎのぶ お  
八木伸雄 議員



**問** 内閣府の調査では、子どもの貧困率が16・3%とされているが、島田市の実態はどうか。  
**答** 対象者数は把握していないが、学校にて支援する要・準要保護者は556人である。  
**問** 貧困と言われる子どもへの支援策はどうか。  
**答** 国のひとり親家庭の児童扶養手当等や県の母子家庭等医療費助成等があり、市単独で



全ての子どもたちに幸せを

は保育料の減額や就学援助などがある。  
**問** 就学援助を受けている子供の556人と言うが、国の貧困率16・3%から想定し、全ての貧困家庭の子どもが支援を受けているかどうか心配だ。学校が子どもの生活を注視し、対象の子ども全てに就学援助をすべきだ。  
**答** 児童扶養手当の申請時に、就学援助の制度も紹介したい。

に通うことができない子どもへの学習面での支援も検討してほしい。  
**答** 来年度から人材育成の支援も始まる。物質的援助に加え、学習支援も取り組みたい。  
**農業後継者に未来を**  
**問** 農業後継者の育成施策はあるか。  
**答** 所得向上に向けお茶の輸出と六次産業化や複合経営を支援する。  
**問** 後継者に農地を集約すべきではないか。  
**答** 人・農地プランで担い手を育てていく。



**問** 国道1号バイパスの4車線化工事が始まる。市内の国1が通過道路に過ぎない現状から、例えば中央公園付近に飲食のできる休憩所、緊急災害時の避難所や復旧復興の拠点ともなる「道の駅」を造り、地域活性化を図れないか。

**答** 地元農産物の販売促進とか、地域振興が図れる。事業の実施状況をしながら関連機関で協議する。



「道の駅」は地方創生の原点だ

## 国1に道の駅を造れないか?

個人質問

佐野義晴 議員



**問** 市民病院西側の国1が県道に移管される。国1から病院玄関に向かう交差点は道路幅が狭く、渋滞が頻発し危険だ。隣接する市有地の活用や、信号機の移設など改修できないか。

**答** 今、新病院の建設場所や建物の配置計画をしている。それに合わせて必要に応じた整備を考える。

**問** 大津小学校西の田んぼを流れる通称「蛭川」の改修計画について、事業内容を伺う。

**答** 平成27年度から29年度にかけ水路幅を2・5mに改修し、東側に4mの管理道路を造る。

**問** 市内には基盤整備の遅れで管理道路のない田んぼが随所に見られる。それが耕作放棄地拡大の要因になってはいないか。解決策は。

**答** 地元による気があれば、国の支援制度を活用した基盤整備が可能。また、用地の協力があれば砂利舗装による農道建設支援を行う。

**問** 市長は年頭の挨拶で「ギアチェンジして市政に当たる」と述べた。何をするのか。

**答** リーダーシップを発揮し市政を牽引する。

**問** 任期残り2年の市の課題と対策は。

**答** 人口減少、地域の活性化、土地利用が課題であり、移住・定住を促進する施策、雇創出する施策を進め、県と地域と連携して取り組んでいく。

**問** さらに中期的なビジョンの中で市の課題は何で、どうするか。

**答** 少子高齢化や人口減少、厳しい財政状況が課題となると思われる。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し進め、また次期総合計画の策定に向けて平成27年度から取り掛かる。

**問** 中期的視点からも厳しい財政が続く。どう対処していくのか。

**答** 地方創生と銘打って地方財政計画が国から示された。その動向を見ながら、行政経営

## ギアチェンジして市政は変わるか?

個人質問

山本孝夫 議員



**問** 改革を進める。

**問** 平成27年度予算に新最終処分場についての記述がない。どうするのか。

**答** 来年度、選考委員会で検討し、必要あらは補正で措置する。

**問** 処分地の問題は、住民感情が大きく左右する。どう進めるか。

**答** 結論を出すには長い年数が必要。地元へのご理解いただける努力をし、情報の公開に配慮していきたい。



これからの計画・方針が示されている市の資料



# 文化・歴史を生かしたまちづくりを！

個人質問

もり しんいち 議員 森 伸一

**問** 市民から牛尾山遺構の一部の保存と記録説明板を現地付近に設置してほしいという要望が出されたが、その対応は。

**答** 関係者と協議しながら前向きに検討する。

**問** バスに乗って尾川まで行き、丁仏参道から智満寺、どうだん原までハイキングして伊太和里の湯へ下りてくるコースをアピールしたらどうか。

**答** 3月の下旬、名鉄

**問** 観光バスがウォーキングツアーを組み、280人が参加した。今後モッアー受け入れを考へたい。

**問** 大井川マラソンコース・リバティには、宿場標と、関連する詩の説明板がある。板の傷みがひどいものもあるので、修理し、多くの人に読んでいただくような対応をしてほしい。

**答** 修理や再設置に取り組みたい。

**問** フォトロゲイニングのような形で、市内



リバティ宿場標

の文学碑等を巡るイベントを計画できないか。

**答** 来年度具体的に取り組んでいきたい。

**こども館の本来の役割は**

**問** 市民団体から子どもたちと指導員の触れ合いの場づくりに協力したいという申し入れがあったが、どう対応するか。

**答** これまで中央児童センターで行っていたようなことができるような形にしていきたい。

**問** 市が主体性を持って具体的に提案できる金谷駅前通り活性化策は。

**答** 商業者が集中した場所ができれば。

**問** バイク世界一周をした時、水くみ場には必ず沢山の人がいた。金谷南支所に井戸を掘って人を呼び戻そう。

**答** 全国の、そうした名水に人が集うことは承知している。

**問** 金谷の活性化を職員全員で考えませんか。

**答** 市民の支援をする。

# 金谷駅前通り活性化を！

個人質問

あおやまさとら 議員 青山真虎



にぎわう金谷を望む。パワーは充滿している。

**問** 駅前通り、駐車場がない。支援を。

**答** 新規開設は難しい。

**問** 金谷駅にSLを。

**答** 安全性に問題あり。

**新規の橋は必要だ**

**問** 川根から国一の間橋を要望しているか。

**答** 要望している。

**問** 橋は社会的有用性が高い所から順に建設すると聞く。橋ができれば神座・相賀・伊太もインター周辺になり、経済効果が期待される。強く要望を。

**答** 借金することは、悪いことではない。

**問** 神座と横岡の近辺に、新規の橋は必要である。

**財政健全化**

**問** 病院建設の予算が前計画より100億円アップしている。財政健全と病院建設は別か。

**答** 財政的に、なんとか収まる。

**問** それでは首が回らなくなる。私たち世代が夢を語れる余裕ある計画を。

## 議会運営委員会の調査報告

去る1月27・28日、議会改革に取り組んでいる兵庫県篠山市及び京都府福知山市で調査を行いました。

篠山市では、平成24年4月1日より「篠山市議会基本条例」を施行。議会運営委員会や広報特別委員会や先進地の視察を重ね、ICT研修会を広報特別委員会でも実施しました。平成25年6月27日に「篠山市議会における情報通信技術の活用を推進するための決議」を採択し、平成26年3月下旬にタブレット端末の運用を開始しています。予算化や事業の実施までの速さを感じました。また様々な課題はありますが、島田市においても、効率的な議会運営や議員活動の充実、ペーパーレス化による環境負荷の低減等を目指した取り組む必要があると感じました。

次に福知山市では、予算・決算審査特別委員会の設置と運用について調査しました。委員は、全議員で構成、予算は、各常任委員会所管別審査を4日間行い、総括質疑を2日間行います。決算は

5日間で行われ、審査がなされているとのことでした。

今回の調査で、予算・決算審査特別委員会の必要性を再認識しました。島田市議会も、事前に予算・決算審査特別委員会での確認事項や定例会の日程調整など具体的な議論を積み重ね、実現に向けて進んでいかななくてはならないものと感じました。



篠山市役所での調査を終えて

## 議員研修会

### 「人口減少問題とこれからの島田市」を開催！

1月30日、PHP総研の佐々木陽一氏を講師に迎え、議員研修会を開催しました。

講師は、島田市の人口動態や国・県の人口減少克服の取り組みについてデータをもとに解説した後、「「限界都市・島田を救う」ためには、『政策力』に基づく独自施策の展開によって、人や企業に選ばれる自治体を実現し、それが、市の財政力・人材力の維持・向上と新たな投資と魅力ある施策展開につながるような循環サイクルを形成することが必要である。そしてこの改革を進めるためには、「子や孫のクレジットカードで買い物（自治体経営）しているような」現在の状況は、普通ではないという気持ちを、市民・議員・職員が持つようにしなければならない。」と述べました。

具体的には「これからの島田市のまちづくり」として、次のことを念頭に、市の行財政改革を進めるべきだと指摘がありました。

- ①公共施設白書や施設にかかる将来費用算出結果をもとに資産の有効活用をする。
- ②島田市の経営規模（資産保有量）は上場企業相当であり、その意識で施策を進める。
- ③財政は“健全”と言うが、ハコモノの改修経費などの隠れ借金が入っていない。さらに、投資的経費も減少気味であることから、中期財政見通しが必要である。



熱気溢れる研修会



# 「声の議会だより」をお届けします 島田高校放送部・議会だより録音ボランティア

目の不自由な方のために、「議会だより」の音読を録音したCDをお届けするサービスがあります。このCDは、島田高校放送部の皆さんが、部活動の一環で録音してくださっています。

**Q** どのような活動をしていますか？

**A** 普段は、渡り廊下の外で発声練習をしています。最初はちよつと恥ずかしかったです。他には、昼の放送やマラソン大会や体育大会のアナウンスをします。

**Q** 年間を通しての大会の予定は、どうなっているのですか？

**A** 5月にNHK杯があつて、勝ち進めば全国大会まであります。あとは11月に新人戦があります。他に、吹奏楽のアンサンブル・コンテストの司会やユース・サッカー大会のアナウンスがあります。今の時期は「議会だより」を録音しています。

**Q** 気を付けているポイントは？

**A** 聞いている人に伝えることを考えて速過ぎないようにしたり、間を空けることを意識するように工夫をしています。

**Q** 今年の目標は何ですか？

**A** 全国大会出場です。

**Q** 「議会だより」を読んでいる、どんなところが大変ですか？

**A** 地名とか店名などの固有名詞がわからない場合があり、確認の作業が大変です。また、最初のころは議会ならではの単語がわからなくて、苦労しました。

**Q** 放送部としてアピールしたいことはありますか？

**A** 部員募集です。3年生は全国大会へ行っても7月で引退。2年生は今一人なので、ぜひお願いします。



「いつもありがとう」  
島田市議会がお礼の訪問

## 平成27年第2回(6月)定例会の日程

～傍聴へお越しください～

次回定例会の日程は次のとおりです。ぜひ、本会議、常任委員会の傍聴にお越しください。いずれも午前9時30分開会予定です。

- 6月1日(月) 本会議(議案上程)
- 6月11日(木) 本会議(一般質問)
- 6月12日(金) 本会議(一般質問)
- 6月15日(月) 本会議(一般質問)
- 6月16日(火) 本会議(議案質疑)
- 6月17日(水) 常任委員会

6月18日(木) 常任委員会

6月26日(金) 議会運営委員会

6月29日(月) 本会議(最終日)

※なお、この予定は変更されることがあります。最新情報は、市議会公式ホームページに掲載します。

## 編集後記

先般、市役所のロビーにて「あなたはどの冊子を手にとってみたいですか？」と市民アンケートを実施しました。

島田市を含め、島田市、東京都あきる野市、栃木県宇都宮市の「議会だより」の表紙、見開きの最初のページ、議員の個人質問を掲示し、回答していただきました。表紙は魅力ある写真で読者を引きつけるもの、見開きページは市民と議会の対談記事が好評でした。

字数を少なくし、身近でわかりやすい内容の工夫、レイアウト等、これからの編集の参考にしていきます。



議員自らがアンケートで活躍

## 議会だより編集に関する特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 桜井 洋子  |
| 副委員長 | 横田川 真人 |
| 委員   | 杉野 直樹  |
|      | 伊藤 孝樹  |
|      | 山本 孝一  |
|      | 森伸 一   |